

登録コード	A2508400	開講年度	2026					
授業科目	先鋭領域特別講義				担当教員	真壁 秀文		
英文授業名	Special Lecture for Cutting Edge Research					伊原 正喜・安江 恒・渡邊 修・山田 明義・今井 優		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限		対象学生	3・4年生
講義室	農学部 2 6 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している。		
	2 0 2 6 A3編（24A），2 0 2 5 A3編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	世界水準の国際研究拠点を目指し、研究活動している先鋭領域融合研究群のバイオメディカル研究所、社会基盤研究所および山岳科学研究拠点の先生方による農学部生に対するリレー講義。							
(5)授業計画	第1回（4/13）：梅澤公二「分子間相互作用の自由エネルギー計算」 第2回（4/20）：今井優「微生物が生産する生理活性物質とその機能」 第3回（4/27）：安江恒「気候変動と樹木の成長」 第4回（5/1）：渡邊修「農地圃場センシングによる作物及び雑草群落の解析」 第5回（5/11）：山田明義「菌根性きのこ類の生理生態学的研究」 第6回（5/18）：上原三知「ランドスケープデザインと持続可能な社会づくり」 第7回（5/25）：福山泰治郎「山岳域における自然災害」 第8回（6/1）：高谷智英「細胞運命を制御する核酸医薬品の開発」 第9回（6/8）：田中沙智「免疫機能を制御する食の研究」 第10回（6/15）：下里剛士「オリゴDNA微粒子の創製研究」 第11回（6/22）：真壁秀文「天然有機化合物の合成と生物活性」 第12回（6/29）：諸白家奈子「体外で卵（らん）を育てる」 第13回（7/6）：片山茂「食とアンチエイジング」 第14回（7/13）：保坂毅「微生物がつくり出す医薬品」 第15回（7/27）：伊原正喜「微生物によるカーボンリサイクル」 第16回（8/3）：まとめ・授業アンケート 真壁秀文							
(6)自主学習の指針	将来、研究者や高度技術者を目指す方は、高度な研究に取り組む先生方の姿勢から、自分できることに少しずつ取り組んでください。							
(7)成績評価の基準	出席基準（3分の2以上）を満たした受講者に対して、出席と受講態度40%、課題30%、試験40%で総合評価する 総合得点が90点以上を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可とします。欠席が5割以上の場合は不受講とします。							
(8)事前事後学習の内容	適宜連絡します。							
(9)テストやレポートの予定	適宜、教員から課題やレポート提出があります。 期末試験では専門知識を問う内容は出題しません。							
(10)成績評価の方法	出席と受講態度40%、課題30%、試験40%で総合評価をします。 総合得点が90点以上を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可とします。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内は口頭、それ以外はメールで対応します。							
(12)履修上の注意	この授業は令和8年度まで開講されますが、令和9年度以降は開講されません。							
【教科書】	なし。講義資料は教員が用意する。							
【参考書】	なし							